

2022/10/25 強度行動障害を有する者の
地域支援体制に関する検討会

医療の実践

～強度行動障害を有する人が 安定した暮らしをするために

国立病院機構肥前精神医療センター
療育指導科長 會田千重

個別に紹介する事例については、匿名性に十分配慮し、患者本人が重度知的障害児・者のため、代諾者である保護者へ口頭での説明と同意を得ています

強度行動障害を伴う知的・発達障害児(者)

◆**強度行動障害とは**、自傷行為や物を壊すなど周囲の人に影響を及ぼす行動が多く、家庭でかなり努力をして養育しても難しい状態が続き、特別な支援が必要な**状態**

◆**精神科診断的には**重度知的障害を伴う自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder:ASD)が多く、8割程度と言われている(中島,2005)

◆**知的障害・発達障害疫学**

療育手帳取得者数117万8917名(18歳未満:29万0975名、18歳以上:88万7942名)。加えて平成24年に文部科学省で実施した「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」6.5%

◆**強度行動障害疫学**

知的障害者の2%程度と推測され、**全国で約2万人**。ただし、障害支援区分による行動障害の基準では、**のべ5万人以上**が行動障害に入る(厚生労働省,2019)

◆**一般精神科病棟での治療の現状(2年以上の知的・発達障害長期入院患者975名)**

薬物療法～全国児童青年精神科医療施設91.3%、国立病院機構78.5%、日精協病院76.6%

構造化・行動療法実施～**71.4%・50%・1.5%**と、一般精神科で導入率低い

(H27～29 厚生労働行政推進調査事業費補助金障害者政策総合研究事業：市川・田淵ら)

国立病院機構精神科病院の中での強度行動障害対策1972～ 「療養介護・医療型障害児入所支援」:定床約740床

2022年6月
長期入院
待機児・者数
全国で124名
(演者調査)

賀茂精神医療セ
ンター(広島)
100

肥前精神医療
センター(佐賀)
100

菊池病院
(熊本)100

琉球病院
(沖縄)90

北陸病院
(富山)50

さいがた医療セ
ンター(新潟)82

花巻病院
(岩手)60

小諸高原病院
(長野)60

やまと精神医療
センター(奈良)
100

* 機構の一般精神科病棟で強度行動障害を伴う患者の治療実施もあり

強度行動障害を有する人の医療

- 1) 身体的な疾患の受診・入院
- 2) 施設や在宅からの一時的レスパイト入院（緊急避難含む）
- 3) 行動障害を軽減するための治療（短期/長期）

～上記の中で2)のニーズが高いが、在宅や施設に戻れなくなる事例→医療機関が受け入れに消極的になる、という悪循環あり

本人・家族のリスク回避

➤三田事件と「潜在的要支援者」

- ・未だ切迫したリスクあり
- ・福祉・医療の狭間で取り残されている患者・家族
例) 三田市監禁事件 ([日本社会精神医学雑誌\(28\)364-371, 2019](#) 田中・木下ら)

➤虐待リスク

- ・令和2年度の報告で障害者虐待の被虐待者のうち「行動障害がある者」の割合
～養護者の虐待の28.9%、障害者福祉施設従事者等の虐待の30.6%
([厚労省,2022](#))

➤保護者の自殺や福祉職員の離職

➤行動障害を有する知的・発達障害児(者)での身体疾患治療の不足

- ・行動障害＋医療的ケア(身体合併症)
- ・行動障害＋急性期の身体疾患
- ・生活習慣病や悪性腫瘍の検診

これから入院する人が長期化しないための対応

1. 入院時に退院時期を確定している（予定通り退院できる）

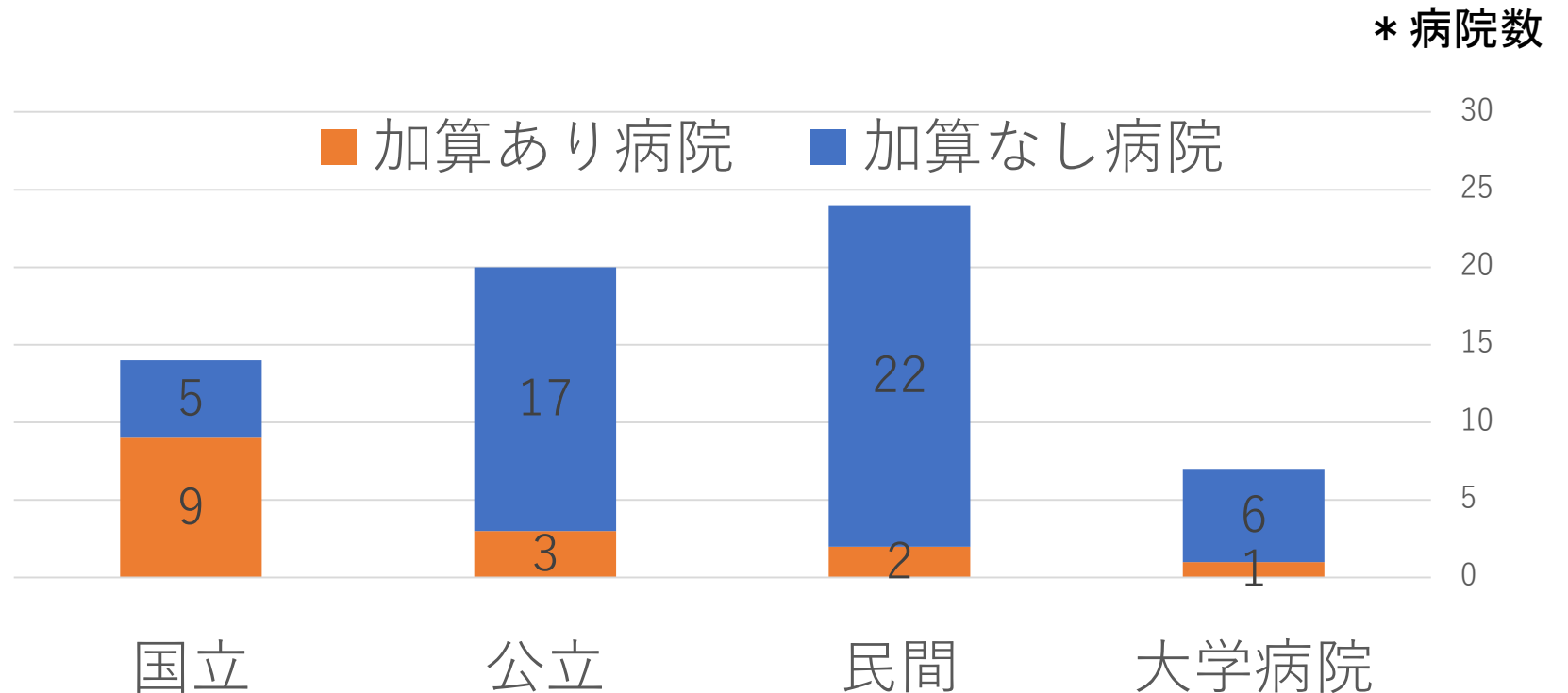
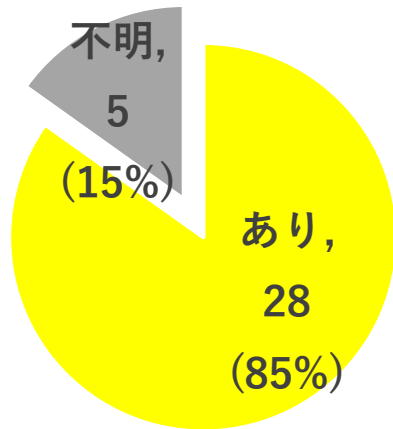
2. 退院時期は未定だが、退院（移行）先をコーディネート・協力する地域の機関やしくみが機能している（基幹相談支援センター・自立支援協議会・発達障害者支援センター・発達障害者地域支援マネジャー、地域生活支援拠点等整備事業など）

3. 退院時期もコーディネート機関も未定だが、多機関連携し退院（移行）できる（行動援護や重度訪問介護などのサービスを福祉事業所と連携し入院中から利用・行動拡大）

一般精神科病院・病棟での治療現状 「強度行動障害医療研究会」アンケート調査より

◆地域での行動障害に対する医療機関～**精神科**
(加算：強度行動障害入院医療管理加算、施設基準あり)

行動障害対応医療機関
(精神科)(n=33地域)

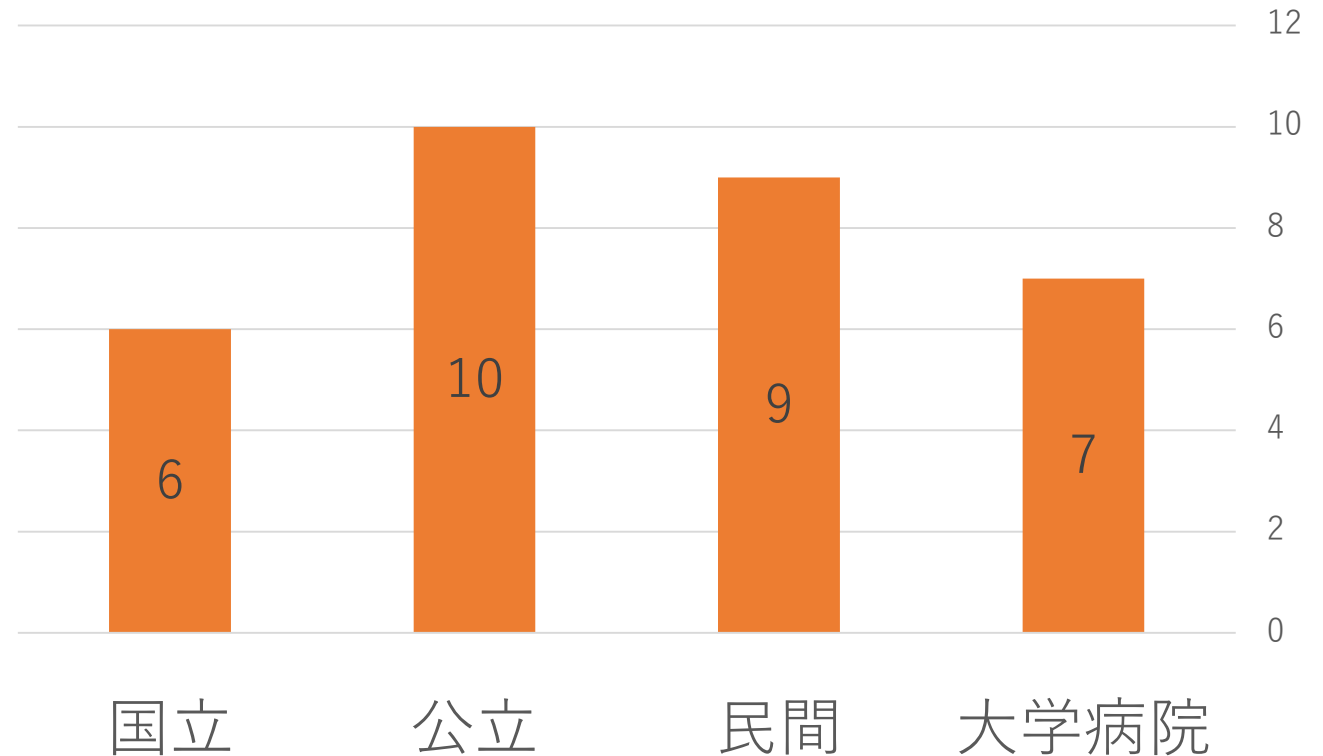
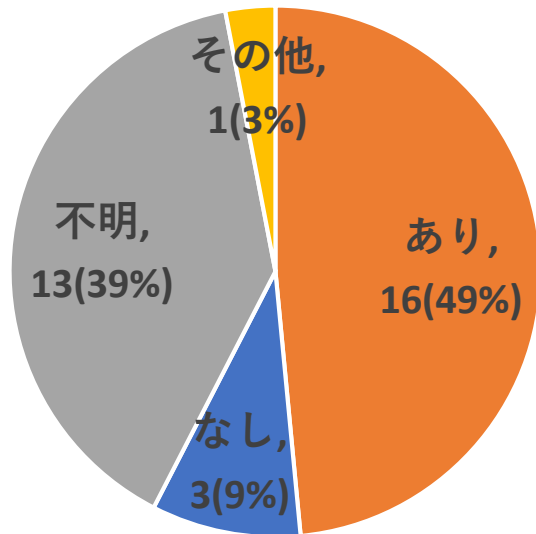


一般身体科病院・病棟での治療現状 「強度行動障害医療研究会」アンケート調査より

◆地域での行動障害に対する医療機関～身体科

* 病院数

行動障害対応医療機関
(身体科) (n=33地域)

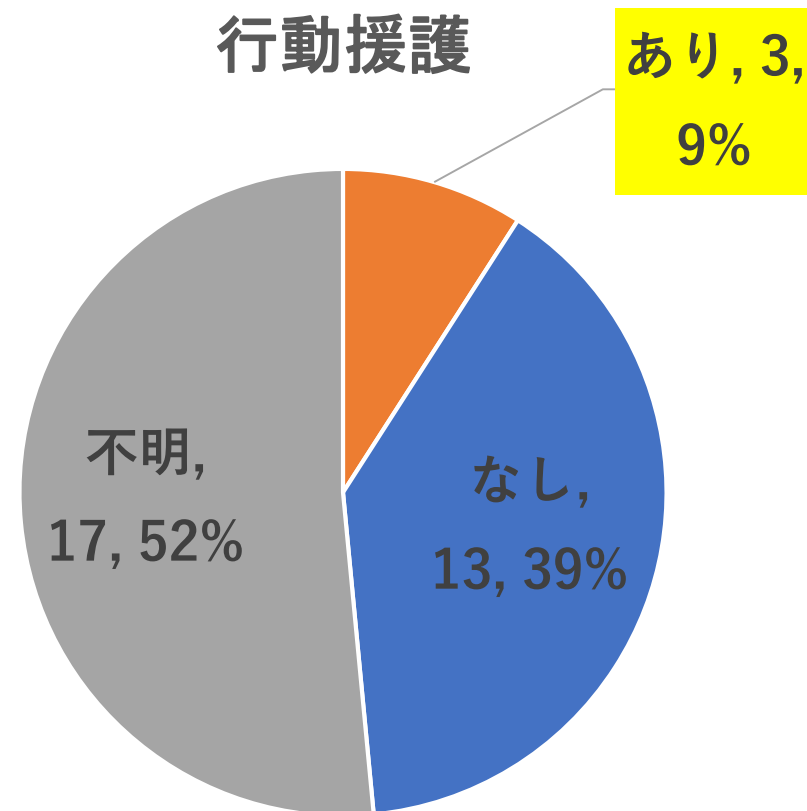
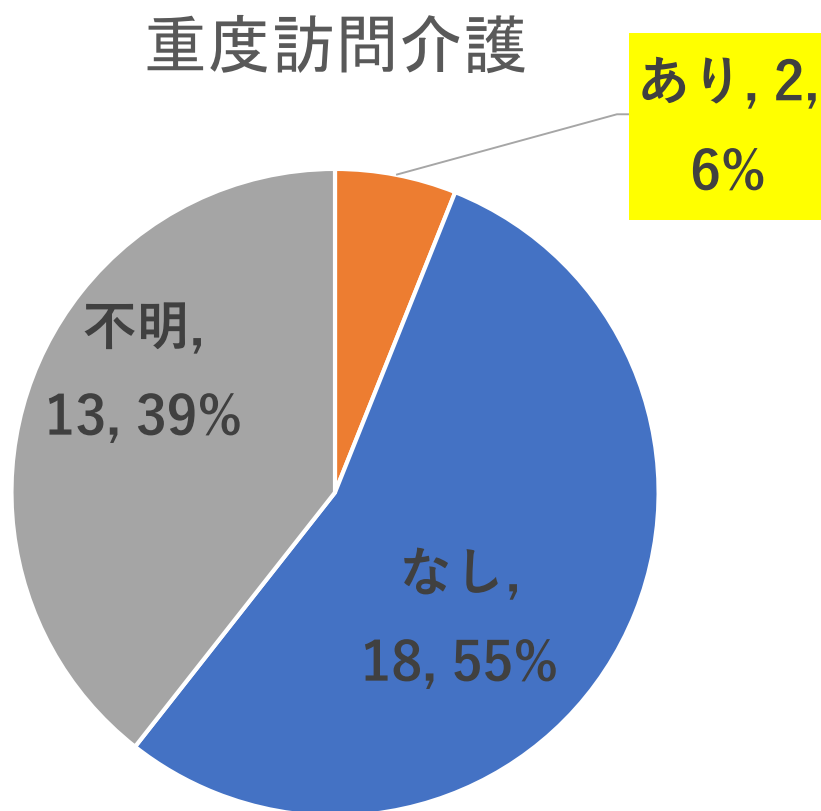


「その他」・・・保護者等の付き添いが条件

一般精神科病院・病棟での治療現状

「強度行動障害医療研究会」アンケート調査より

◆入院中の福祉サービス利用（n=33地域）



まだ少数～お互いの介入手法を知らない？

強度行動障害チーム医療研修



- ◆自閉スペクトラム症の特性に配慮し、専門医療・支援としては**行動療法（応用行動分析）・構造化（TEACCH® 自閉症プログラムを参考に）**の概念を取り入れたもの



- ◆国立病院機構版～「強度行動障害チーム医療研修」（重症心身障害病棟対象：2015年度～）
- ◆肥前精神医療センター版～「強度行動障害を伴う発達障害医療研修」（医療機関対象：2016年度～）
- ◆多職種による講義、グループワーク、外部専門家による講演からなる
- ◆対象者は医師・看護師・児童指導員・心理療法士・OT・PT・ST・PSW・介護福祉士など
- ◆現在までに計988名が修了

福祉・教育との連携事例

2012年 「自宅から5年間外出できなかったAさん:10代女性」 ～こだわり行動・パニック・家族の巻き込みのリセット、施設移行

- 重度知的障害を伴う
自閉スペクトラム症(ASD)
- 強度行動障害判定基準13点
- 165cm・107kg

- 相談支援・入所施設と会議
- 移行支援



- 施設移行
- 外泊、家族旅行など可能に



2015年「他害で福祉事業所の再利用困難と思われたBさん:20代男性」 ～ネットワークの活用事例、地域移行

(最重度知的障害を伴うASD:強度行動障害判定基準24点,174cm93kg)

外来通院

- 相談支援センター・福祉サービス実施事業所(行動援護)
- デイケア通所中の近医・当院

短期入院

- 相談支援センター・福祉サービス実施事業所(行動援護)
- 強度行動障害支援事業所
- デイケア通所中の近医・当院

GH移行後

- 相談支援センター・福祉サービス実施事業所(行動援護・日中通所生活介護)
- 強度行動障害支援事業所
- デイケア通所中の近医・当院

2019年

「食事コントロール困難で250kgになってしまったDさん:10代男性」 ～教育との連携、施設移行

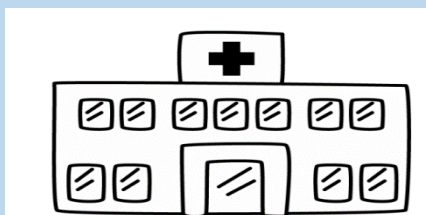
最重度知的障害を伴うASD
強度行動障害判定基準16点

【入院前】



在宅での生活
食事量増加
入院治療への抵抗
学校通学
個別対応
身体状態の懸念
行動障害

【入院後】



個室ベースの生活
スケジュール使用
余暇活動の継続
訪問教育
集団活動参加
↓
徐々に体重減少

支援会議

支援会議

支援会議

保護者・医療
教育(原籍・院内)・福祉

【退院後】



施設での生活
個室使用
食事量キープ
共通の自閉症支援
身体状態フォロー
行動障害フォロー
(当院にて)

187cm・体重以下(kg)

248

204

169

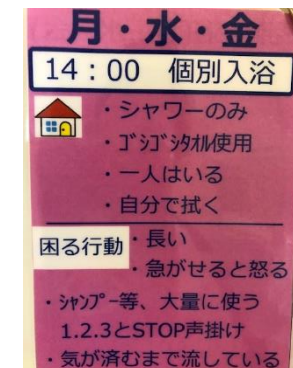
入院時 6か月後 退院時

2020年 複数回短期入院しているEさん:20代男性

～パニック・他害・自傷の対応、レスパイトと福祉体制の立て直し
最重度知的障害を伴うASD：強度行動障害判定基準20点,168cm77kg,障害支援区分6



全てご家族が作成し
使用法をスタッフに伝達



2021年 家族の急病で入院となったFさん:10代男性 ～パニック・他害・自傷の対応、緊急レスパイト(救急病棟保護室) 重度知的障害を伴うASD:強度行動障害判定基準31点,168cm47kg,障害支援区分5

ひぜんのひなういんいほき、
↓
ひぜんのひなういんいほきとほりほき、
↓
6がういんいほきとほりほき、
↓
おあきさんとほりほき、
↓
おあきさんマクにいきほき、
↓
コストコいきほき、
↓
おあきさん。

ご家族
作成

5がつ

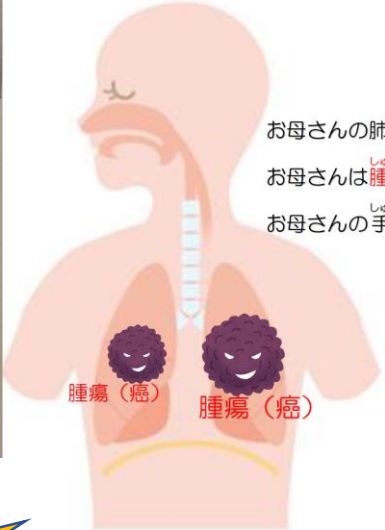
sunday	monday	tuesday	wednesday	thursday	friday	saturday
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6がつ

sunday	monday	tuesday	wednesday	thursday	friday	saturday
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3

病院で作成

ぼくとお母さんの入院について



お母さんの肺に腫瘍(癌)が見つかりました。
お母さんは腫瘍(癌)を手術してとります。
お母さんの手術の日は、6月11日(金)です。

ゆうごはん
くすり
くすり
ふとんでねる

発達障害者支援
センターと
ご家族で作成

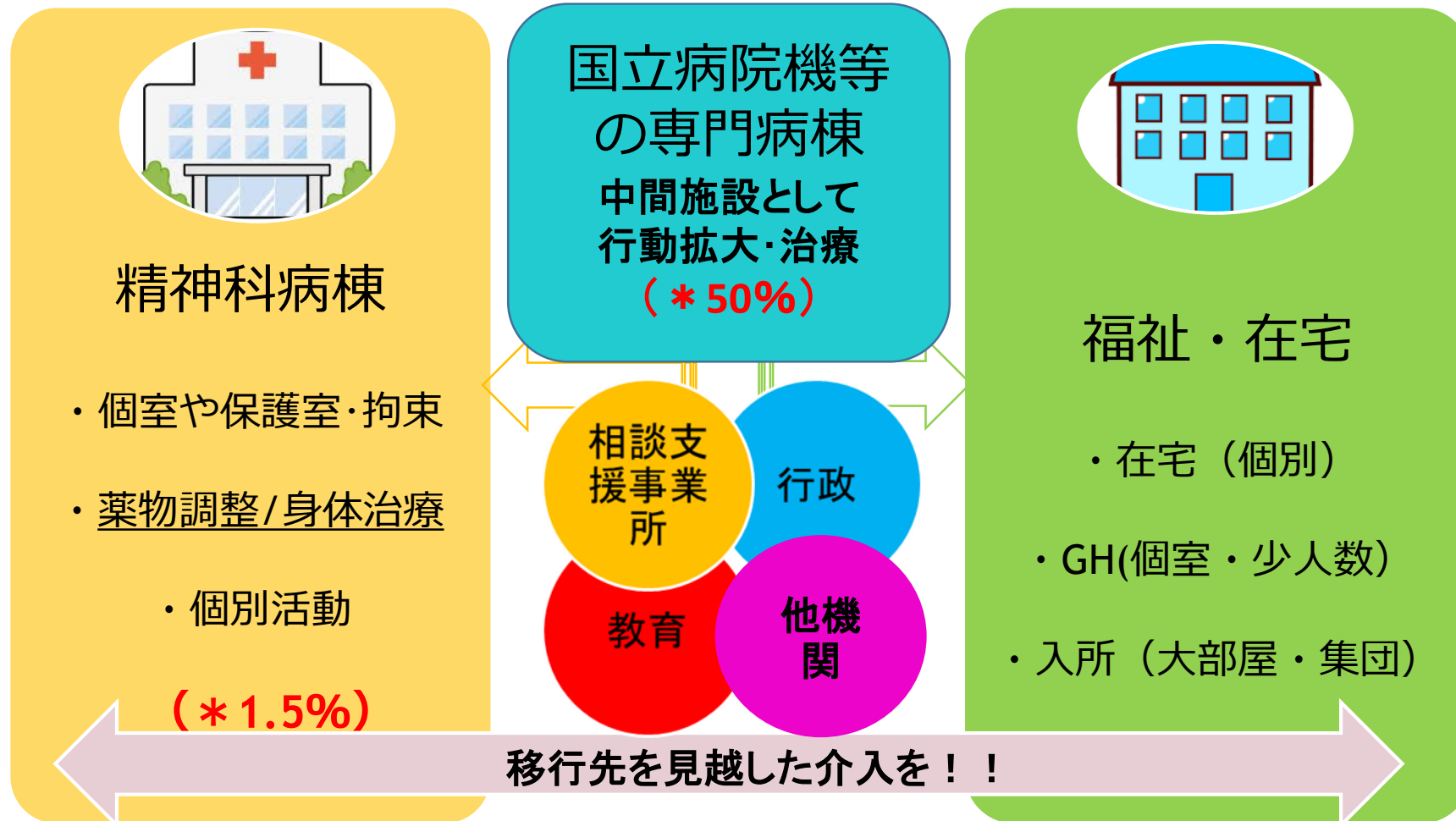
○ぼくの入院は、7月6日(火)までになります。
○お母さんが元気になって 君と会うのは7月6日(火)です。
○7月6日(火)に、マクドナルド  とコストコ  に行きます。
○7月6日(火)の夜は家でなべを食べます。

医療・福祉・行政の連携 ～入院中における外出時の行動援護導入



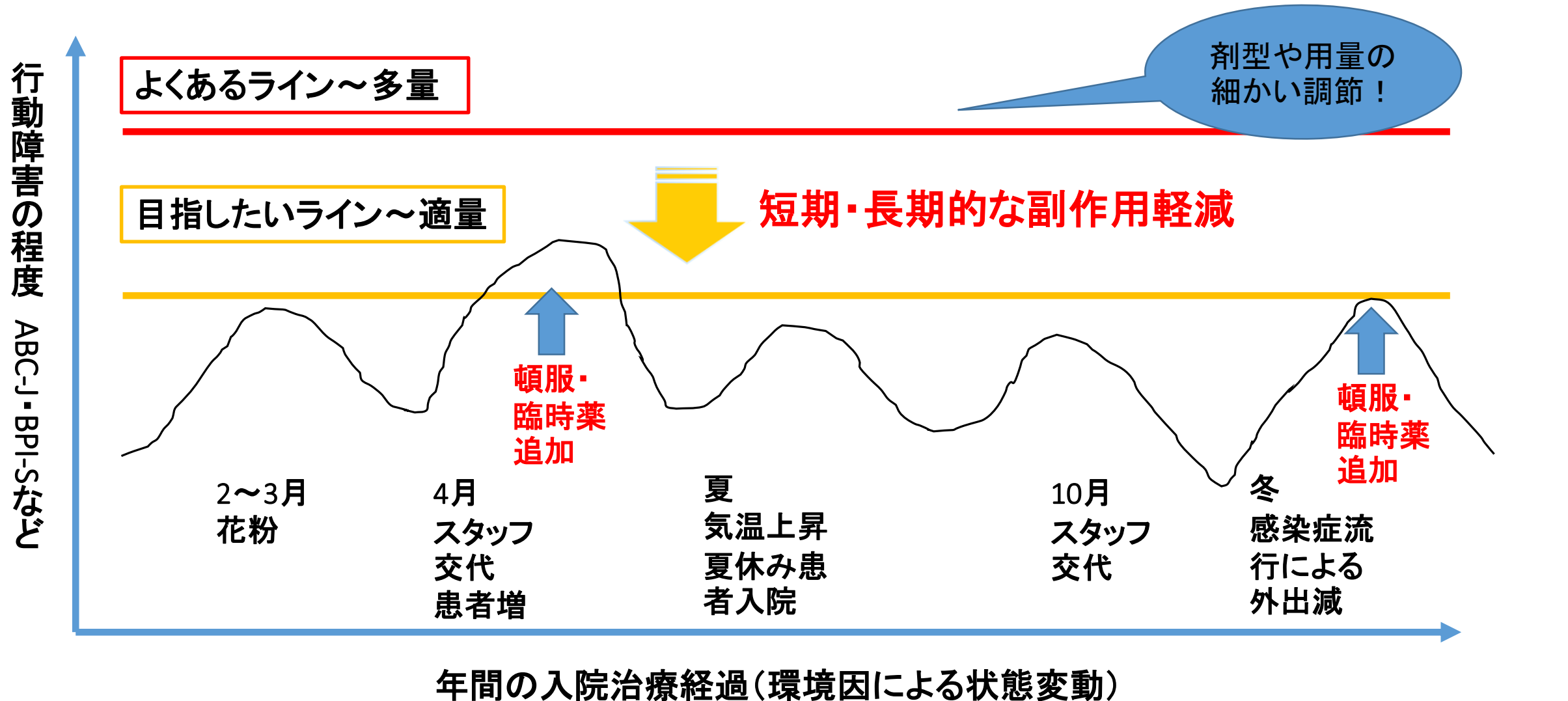
*** ポイント～入院中に繰り返して退院後も自宅やグループホームで利用を
～病院・福祉で相互に乗り入れる、やってみてメリットを感じる**

強度行動障害を伴う人の医療から地域への移行支援



* 行動療法(応用行動分析)・TEACCH®自閉症プログラムにおける構造化の導入施設率(市川・田淵ら,2016)

強度行動障がいに対する薬物療法



* ABC-J: 異常行動チェックリスト日本語版 BPI-S: 問題行動評価尺度短縮版

行動障害を伴う知的・発達障害児(者) 新型コロナウイルス感染症対応での連携

●院内発生

2021年：中等症での転院の難しさ

2022年：感染力が強いが、マスク常時着用は困難

●コロナ病棟で在宅・GHからの受入れ（一般精神科看護師による身体的ケア）

①生活・コミュニケーション支援のための簡単な準備

- ・視覚的な入院予告と退院日お知らせ、余暇グッズ、スケジュール
（なるべく持参or院内で調達～DVD・本・感覚グッズ）
- ・検査のための絵・写真カード（病棟レッドゾーンに配置）

②普段とちがう環境での様子

- ・あまり大きな問題なし、逆に違う表情や行動を発見（新しい経験）

ポイント
～強度行動障害
の支援で大事な
こと

自閉症特性をふまえた受容・表出両方のコミュニケーション支援・感覚特異性への配慮（予防！！）

余暇活動の充足

医療と福祉・教育の連携（ICTも上手に利用して）

長期的予後を見越した薬物療法の適正化

共通の支援手法を持った多様性のあるネットワーク

強度行動障害医療研究会

2020年10月～

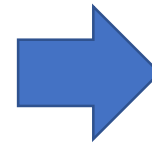
41都道府県の200名以上が参加

(医療・福祉・教育・心理・行政など)

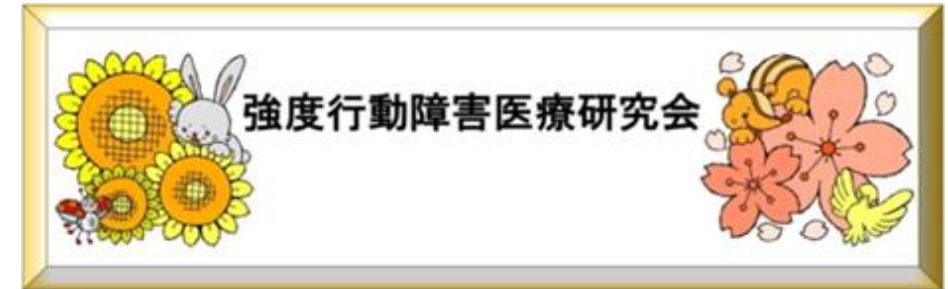
看護分科会「KYOKAN」

医師分科会「KYODO」

年3回の勉強会・情報共有など実施



肥前精神医療センターHPのバナーより



参考書籍・情報

- 2014 重症心身障害児・者 医療ハンドブック第二版 小川克彦著 児玉和夫監修 三学出版
- 2017 ちょっとしたことでもうまくいく 発達障害の人が上手に働くための本 對馬陽一郎 翔泳社
- 2018 最新版 大人の発達障害[ASD・ADHD]シーン別解決ブック 司馬理英子 主婦の友社
- 2019 知的・発達障害における福祉と医療の連携 市川宏伸編著 金剛出版
- 2020 強度行動障害支援者養成研修テキスト 強度行動障害のある人の「暮らし」を支える
特定非営利活動法人全国地域生活支援ネットワーク監修 中央法規
- 2020 多職種チームで行う「強度行動障害のある人への医療的アプローチ」
肥前精神医療センター監修 會田千重編集 中央法規
- 2020 知的障害・自閉症のある人への 行動障害支援に役立つアイデア集
志賀利一監修 林大介著 中央法規
- 2022 チャレンジング行動 ー強度行動障害を深く理解するために
E・エマーソン, S・L・アインフェルド著 園山繁樹・野口幸弘 監修・翻訳 二瓶社
- 2022 対話から始める 脱!強度行動障害 日詰 正文・吉川 徹・樋端 佑樹 編集 日本評論社

